



この度はチョコ停ウォッチャー(以下、本機とする)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。正しく本機のご使用になる前に「取扱説明書」をよくお読みになり、安全上のご注意をご理解の上、正しく本機のご取扱い/設置を行ってください。なお、お読みになった後は本書を大切に保管してください。

本取扱説明書で使われている略語は以下のとおりです。		
SD カード	撮影した動画や写真を記録するカードです。	WMP Windows Media Player を示します。
PC	本機で撮影した動画を再生する Windows パソコンを示します。	リレー コイルに電流を流すことでスイッチを ON/OFF するメカニカルリレーです。
ADVIEW	撮影したデータを再生する PC アプリです。	PLC 工場設備を制御するシーケンサです。

## もくじ

安全上のご注意 / おことわり / 商標について	その他の操作・設定 A. 本機の LCD 画面について B. 録画する、写真を撮る C. 再生する D. ファイルの削除/ロック/非ロックを切替える E. トリガーを入力する F. ヒューアー (ADVIEW) で確認する G. 時計のバックアップについて	III. 本機の初期化 (工場出荷状態へ戻す) 方法について IV. 録画動作の仕組み V. トリガー保存中のファイルに、新たなトリガーが入った場合 VI. お手入れ方法
はじめてお使いの方へ 1. 本体 / 付属品の確認をします 2. 事前の準備をします 3. SD カード (別売) を準備します 4. ボタン電池を取り付けます 5. 配線を行い、電源を投入します 6. 本機の初期設定を行います 7. 本機の取り付け調整をします	知っておくと便利なこと I. フォルダ名 / ファイル名について II. SD カードに保存できる録画時間について	トラブルやエラーの対処について Q&A エラー表示一覧 本体仕様 製品保証書

## 安全上のご注意

お客様のご使用になる方への危害や財産の損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った取扱いをした時に生じる危害や障害の程度を区分して説明しています。

<b>警告</b> [人命に関わる事故や重傷を負う可能性または設置場所に深刻な影響を及ぼす可能性が想定される内容]を示しています。	<b>強制</b> [必ず実行すること]を示しています。
<b>注意</b> [人がケガを負う可能性または物的損害の発生の可能性が想定される内容]を示しています。	<b>禁止</b> [してはいけないこと]を示しています。
	<b>アドバイス</b> 補足説明や便利な使い方を説明しています。

## 警告

製造ライン等への取付けは「周囲の機器設備に干渉がなく適切な場所」に行う。

感電・火災など故障の原因になりますので、本機を以下のような場所に設置しないでください。  
強い磁界・静電気・振動が発生する場所。  
火気の周辺または熱気のこもる場所。  
直射日光があたる場所。  
漏電・漏水の危険がある場所。  
油煙・蒸気・湿気や粉塵の多い場所。

取付けは確実に行う。  
正しく取付けをされない、製品が脱落しケガをする恐れがあるだけでなく、取付け場所によっては設備の損傷・故障の原因となります。据付け・接続・保守は取付け場所の管理者と相談の上、必ず電気設備の施工法、関連法規などを熟知し、適切な技能を有する方が行ってください。

本機や SD カードの温度が高くなる場合があります。

取付台に設置し撮影を行い、動作中 (後) の本機取扱いや SD カードの抜き取りについては、やけどに注意してください。

## おことわり

本機は国内仕様となっております。日本国外でご使用された場合、当社ではいかなる責任も負いかねます。

日本国外での使用に対する現地の法令、規則等については、弊社ではお答えすることができません。

本機を使用したことにより生じた、人体・設備・財産等の直接的・間接的を問わずいかなる結果に対して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

## 商標について

SD、SDHC は、SD Association の商標または登録商標です。  
その他、製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

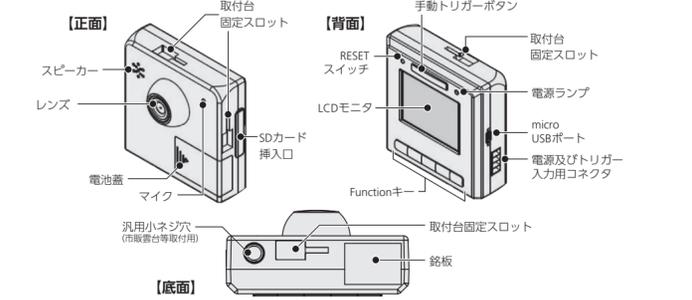
## はじめてお使いの方へ

### STEP 1 本体 / 付属品の確認をします

本機を使用する前に、必ず本体および付属品をご確認ください



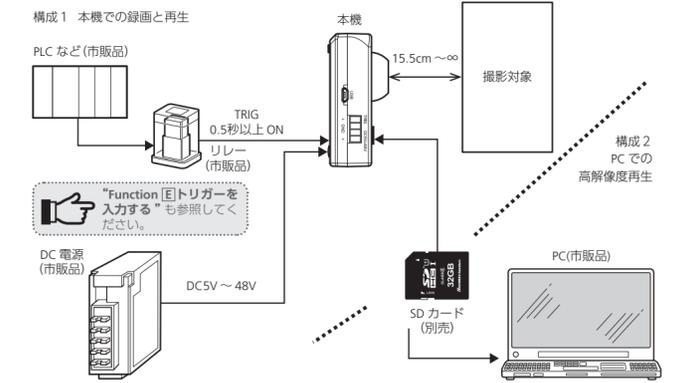
### 1-1. 各部名称



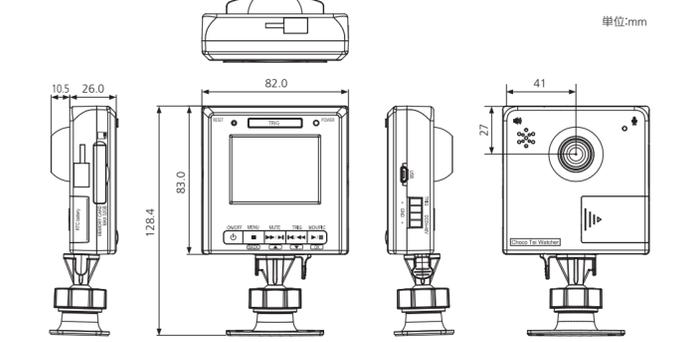
### 1-2. 電源キー、Functionキー

ON / OFF	MENU	MUTE	TRIG	MOV / PIC
電源 ON : 長押し 電源 OFF : 短押し	設定画面へ	マイク OFF	強制トリガー	動画 / 写真切り替え
	再生モード	停止	前送り / 次ファイル	再生 / 一時停止
	設定モード	戻る	上選択	決定

### 1-3. 構成図



### 1-4. 外形寸法図



### STEP 2 事前の準備をします

本機との接続や設定、動作をさせるために必要になる機材をご用意ください。

DC電源	本機に電源を供給する際に使用します。 出力電圧 DC5V~48V 定格電力 本機定格電力よりも余裕のある10W以上を推奨します。	トリガー信号線 / 電源接続用電線	本機の電源用線及びトリガー信号線として使用します。 適合電線サイズ AWG28-16
SDカード	*STEP [3] SD カード (別売) を準備します*を参照してください。	精密マイナスインプドライバー	本機コネクタ端子台に配線をする際に使用します。
PC	・Windows7、8.1、10が動作するパソコン ・推奨SDカードを読み込み可能なパソコン	USBケーブル	USB2.0対応ケーブル USB(A)オス-USB(microB)オス パソコンと本機を接続する際に使用します。(必要に応じてご準備ください。)

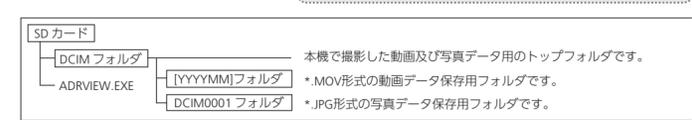
### STEP 3 SD カード (別売) を準備します

3-1. SDカードの準備とフォーマット  
① SDカードを準備してください。推奨するSDカードは下表の通りです。

仕様	規格	SDHC	容量	最大32GB	クラス	Class4	動作温度	0℃ ~ 70℃
推奨	メーカー	ハギワラソリューションズ株式会社						
	型 式	NSD4-032GH(B**MH)						

**注意**  
・市販のSDカードをご使用になる場合は、本機で正しく動作することをご確認の上、ご使用ください。推奨品以外のSDカードと本機の相性による動作については、保証を致しかねますのであらかじめご了承ください。

② 準備したSDカードをFAT32形式で正しくフォーマットを行ってください。なおSDカードを本機へ挿入すると下図のようにDCIMフォルダとヒューアーのADVIEW.EXEが自動生成されます。



### 3-2. SDカードの挿入/取り出し

- 本体側面のSDカード挿入口のカバーを開け、右図のとおり「カチ」と音がするまで挿入口に差し込んでください。挿入の際は、SDカードの向きに注意してください。
- 取り出しの際は、SDカードを「カチ」と音がするまで押し込むと、SDカードが少し飛び出るのを取り出すことができます。
- SDカードの挿入/取り出しを行わない時は、SDカード挿入口のカバーをしっかり閉じてください。

**注意**  
・破損ファイルについて  
本機動作中にSDカードを抜いた場合は録画が停止します。なお、生成中のファイルが破損する場合があります。  
・SDカードの定期的なフォーマット処理の必要性について  
録画ファイルを記録するSDカードは、録画中の電源OFF操作、録画中のSDカードの抜き差しなどによって、不良セクタが発生することがあります。そのため必要なファイルをPC等に保存した上で、定期的にPCもしくは本機の機能〔システム設定〕-〔SDカードの初期化〕でSDカードのフォーマット処理を行ってください。これを行わずに使用し続けた場合、SDカードの寿命が短くなることや、必要なファイルの保存が行われなくなるおそれがあります。  
・SDカードの寿命について  
SDカードには寿命があります。一般的にはSDカードでは書き換え保証回数は2000程度です。本機の場合、32GBのSDカードでFullHD設定/24時間連続録画を行うと、約1年の寿命となります。

### STEP 4 ボタン電池を取り付けます

工場出荷時には、あらかじめボタン電池が装着されていますが、絶縁シートで無効になっています。ボタン電池下の絶縁シートを取り除いて有効にします。ボタン電池の交換の際も同様に行ってください。

- フタをスライドする
- 爪を広げて、ボタン電池を外す。
- 絶縁シートを取り除く
- ボタン電池を再度取り付けてフタをする

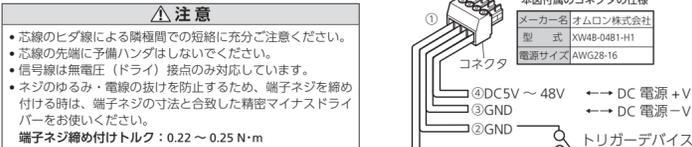


**注意**  
・ボタン電池は爪でロックされており、その爪を広げることで簡単にボタン電池を取り外すことができます。故障の原因になりますので、ドライバーなどで無理に外さないようにしてください。

### STEP 5 配線を行い、電源を投入します

5-1. 配線から電源のONまで  
下図を参考にコネクタ端子にトリガー信号線と電源接続用電線を取付けてください。

- トリガー信号線と電源接続用電線の被覆を右図どおりに加工してください。
- 本書及び本機印字に従い、電圧及び+/-極性に注意して配線してください。



**注意**  
トリガー信号の接続の詳細は、「Function E トリガーを入力する」をご参照ください。また必ず無電圧接点としてください。

- 配線後、コネクタを本機へ取付けてください。
- 電源投入後、電源ランプが点灯し、LCD画面が表示され自動的に録画開始となります。



### 5-2. 電源のON

- 本機に給電する
- 電源給電の状態で電源キーを長押し  
のいずれかで電源ONとなります。電源をONにすると自動で録画を開始します。

### 5-3. 電源のOFF

電源ボタンを短押しすると電源OFFになります。LCD画面と電源ランプが消えるまで給電を止めないで下さい。

**注意**  
電源ボタンの短押しで電源OFFする前に給電を止めると、SDカード内のファイルの生成処理が完了していない動画については保証されず、SDカード自体およびSDカード内のファイルが壊れる可能性があります。または、SDカード内に不良セクタが生成され、録画領域が圧迫されるおそれがあります。STEP 3の「SDカード (別売) を準備をします。」の注意「SDカードの定期的なフォーマット処理の必要性について」を参照して、SDカードの定期的なフォーマットをしてください。

### STEP 6 本機の初期設定を行います

本機の初期設定には、次の3種類があります。

- 動画モード設定
- 撮影モード設定
- システム設定



**注意**  
各項目の工場出荷時の初期値は各種設定一覧に記載しています。必要に応じて変更してください。なお、日時については必ず設定してください。

### 操作手順

- 録画画面の状態、[MENU] キーを押すと、設定画面に移ります。この状態で、[MENU] キーを押すと、「動画モード設定」「撮影モード設定」「システム設定」に順次切り替ができます。
  - 動画を設定する場合は、「動画モード設定」の各項目を設定します。
  - 写真撮影を設定する場合は、「撮影モード設定」の各項目を設定します。
  - 日付その他の本機の設定をする場合は、「システム設定」の各項目を設定します。
- 各項目は、▲(上選択)キーまたは▼(下選択)キーで変更する項目を選択し、OK (決定) キーで選択を確定します。
- 録画画面に戻るには「録画を確認する」にて「録画に戻る」を選択します。

### 各種初期設定一覧

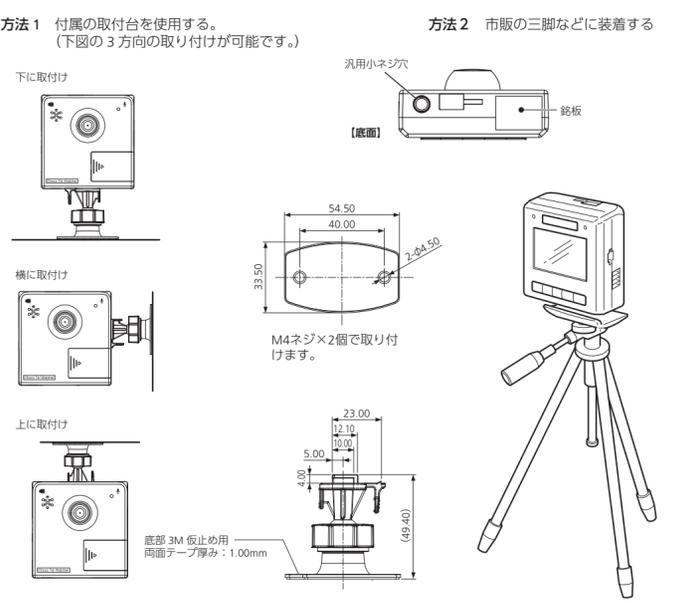
メニュータブ	項目	詳細
動画モード設定 (動画設定)	映像サイズ	録画ファイルのサイズ: 1280×720 (HD) 1920×1080 (フルHD)
	録画時間設定	1ファイルあたりの録画時間: 1分 3分 5分
	録音	録画時の音声入力: ON OFF
	ナイトビジョンの強化	暗時にモノクロ撮影に切り替え: ON OFF
撮影モード設定 (写真設定)	写真サイズ	写真のサイズ: 2M 3M 5M
	録画画質	写真画質: 標準 良い 最高
	シャープネス	撮影画像のコントラスト: 強い 標準 弱い
	タイムスタンプ	日付時刻埋込: OFF 日付 (YYYY/MM/DD) 日時 / 時間 (YYYY/MM/DD, HH:MM)
システム設定	日時設定	日時を設定: 2014/01/01
	画面オート OFF	LCD オート OFF 時間: 無効 (常時点灯) 30秒 60秒 画面が OFF しているとき TRIG を受け付けることができます。
	操作音	操作音出力: ON OFF
	周波数切替 (ちづつき軽減)	ちづつき軽減周波数: 60Hz 50Hz 撮影対象 (蛍光灯 / LED ライト等) の点灯周波数に合わせます。(例: 60Hz の電源では、60Hz に合わせ。)
	音量設定	スピーカー音量: 100% 75% 50% 25% 0%
	SD カードの初期化	「はい」でSDカードのフォーマットを実行: はい いいえ
	言語選択	表示言語: English 繁體中文 简体中文 日本語
設定初期化	「はい」で工場出荷設定戻しを実行: いいえ はい	
バージョン情報	本機のファームウェアバージョンの表示:	

**注意**  
設定時に、外部トリガー入力をOFF→ONにしないでください。設定時に外部トリガー入力をOFF→ONにするとき操作していないのにLCD上のカーソルが移動することがあります。

### STEP 7 本機の取り付け調整をします

取付台に本機を取付け、ネジでしっかりと台座を固定してください。「安全上のご注意」をよくご理解いただき、適切な場所へネジ止めしてください。

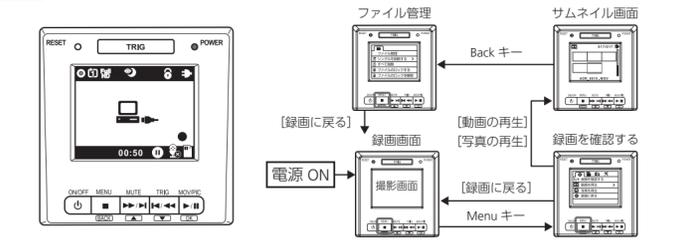
方法1 付属の取付台を使用する。(下図の3方向の取り付けが可能です。)



**注意**  
取付台は、両面テープで仮取付け後、ネジ(M4×2箇所)にてしっかりと固定してください。  
本機底面の汎用小ネジ穴は、市販の三脚等に装着することも可能なカメラ用の国際規格1/4-20UNCに準拠しています。

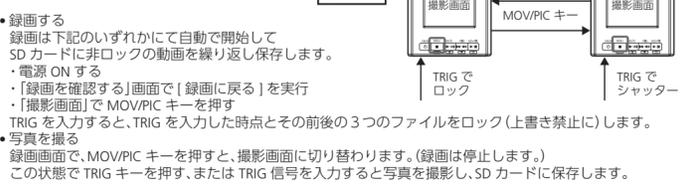
# その他の操作・設定

## Function A 本機のLCD画面について



アイコンと仕様	動作	設定	電源	接続
録画の録画中 撮影中(シャッター待ち) (シャッター後の)写真保存中	動画録画時間 1: 1分/ファイル 3: 3分/ファイル 5: 5分/ファイル	Full HD HD	録画画面 FullHD: 1920×1080 HD: 1280×720	録画画面保存中
動画サムネイル表示 写真サムネイル表示	ナイトビジョンON	録画画面保存中	電源供給あり (コネクタ端子orUSB)	TRIG信号受付 (動画画面の右下)
動画再生中 動画再生一時停止中	早送り (x2 ~ x16) 逆送り (x16 ~ x2)	電源供給あり (コネクタ端子orUSB)	TRIG信号受付 (動画画面の右下)	USBカードリーダーモード
マイクオフ (MUTEが有効)	SD カード検出	録画画面保存中	電源供給あり (コネクタ端子orUSB)	録画画面保存中
00:50 動画録画時間が1分の場合00:00から00:59とカウントします。 (録画中の動画画面の下)				

## Function B 録画する、写真を撮る



**Function C 再生する**

SD カード内の、動画ファイルまたは写真ファイルを再生するには、次の方法があります。

方法1 本機の LCD モニタで見る

- [録画を確認する]画面にて、**[動画を再生]**または**[写真を再生]**を選択します。
- ファイル選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。

再生時:

- ◀キー 逆速再生 (逆 x16, 逆 x8, 逆 x4, 逆 x2, 1倍速再生 順 x2, 順 x4, 順 x8, 順 x16)
- ▶キー 次ファイル
- ◀キー 前ファイル

方法2 本機専用のビューアソフト ADRVIEW で見る

- 本機に装着している SD カードを取り出し、パソコンに装着します。またはパソコンと本機を市販 USB ケーブルで接続します。
- SD カード内の ADRVIEW 実行ファイルを選択しダブルクリックして起動します。
- 右側のファイルリストからファイルを選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。
- 再生ボタンをクリックします。

再生時:

- ▶キー 逆速再生 (逆 x16, 逆 x8, 逆 x4, 逆 x2, 1倍速再生 順 x2, 順 x4, 順 x8, 順 x16)
- ▶キー 次ファイル
- ▶キー 前ファイル

**方法2-1** 本機専用のビューアソフト ADRVIEW で見る

- 本機に装着している SD カードを取り出し、パソコンに装着します。またはパソコンと本機を市販 USB ケーブルで接続します。
- SD カード内の ADRVIEW 実行ファイルを選択しダブルクリックして起動します。
- 右側のファイルリストからファイルを選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。
- 再生ボタンをクリックします。

**方法2-2** 本機専用のビューアソフト ADRVIEW で見る

- 本機に装着している SD カードを取り出し、パソコンに装着します。またはパソコンと本機を市販 USB ケーブルで接続します。
- SD カード内の ADRVIEW 実行ファイルを選択しダブルクリックして起動します。
- 右側のファイルリストからファイルを選択し、**[OK]** ボタンをクリックします。
- 再生ボタンをクリックします。

## Function D ファイルの削除やロック / 非ロックを切替える

動画や写真を再生し、BACK キーを押すと、ファイル管理画面になります。この画面で、ファイルの削除や、ロック/非ロックの切り替えを行います。

**ファイル管理画面項目**

メニュータブ	項目	詳細
シングルを削除する	前画面のサムネイル画面で選択したファイルのみを削除します。	
すべて削除	全てのファイルを削除します。	
ファイルをロックする	前画面のサムネイル画面で選択したファイルをロック(上書き禁止)にします。	
ファイル管理	ファイルのロックを解除	前画面のサムネイル画面で選択したファイルを非ロック(上書き可能)にします。
単一のビューに戻る	選択したファイルを再生します。	
サムネイル表示に戻る	ファイル一覧に戻ります。	
録画に戻る	録画を再開します。	

**ファイルの削除方法**  
[シングルを削除する]または[すべて削除]を実行してください。ロックファイルを削除する場合は、先にロックを解除してください。

**PC のエクスプローラーで削除する場合は、** ファイルを選択して削除を実行して下さい。ロックファイルを削除する場合は、先にファイルのプロパティで「読み取り専用」のチェックマークを解除してからファイルの削除を実行してください。

## Function E トリガーを入力する

1. トリガーの入力方法  
外部端子のTRIG信号または本機のTRIGボタン/TRIGキーにて入力します。

2. TRIG信号の入力仕様

ON/接点閉じ/クローズ/OV (GND) 0.5秒以上

OFF/接点開き/オープン/無電圧

**禁止**  
TRIG 信号に 3V 以上の電圧を印加しないでください。故障の原因になります。

3. TRIG信号の接続例

PLC (リレー出力) OUT TRIG, COM GND

PLC (トランジスタ出力) [ソースタイプ] OUT TRIG, COM GND

PLC (トランジスタ出力) [シンクタイプ] OUT TRIG, COM GND

**禁止**  
複数のリレー出力の片方が共通のタイプならびに、トランジスタ出力(シンクタイプ)の場合、OUT と TRIG、COM を GND に接続してください。この場合本機の GND と COM に接続されている他の電源装置の GND (V) が接続されることにご留意ください。

**禁止**  
トランジスタ出力(シンクタイプ)で GND を切り離した場合は、およびトランジスタ出力(ソースタイプ)の場合、本機との間にリレーを挿入してください。一つのトリガーで複数の本機にトリガーを入れる場合は、本機それぞれにリレーが必要です。

## Function F ビューア (ADRVIEW) で確認する

記録された動画や写真を表示するビューアソフト「ADRVIEW」は、本機に SD カードを挿入すると自動でコピーされます。

- この ADRVIEW.EXE ファイルをダブルクリックなどの方法で起動します。

接続などは「Function C 再生する」の方法2も参照してください。

管理者ユーザーで実行するか、管理者権限で実行し、要求があれば管理者のパスワードを入力してください。

記録された動画や写真を表示するビューアソフト「ADRVIEW」は、本機に SD カードを挿入すると自動でコピーされます。

- この ADRVIEW.EXE ファイルをダブルクリックなどの方法で起動します。

接続などは「Function C 再生する」の方法2も参照してください。

管理者ユーザーで実行するか、管理者権限で実行し、要求があれば管理者のパスワードを入力してください。

## Function G 時計のバックアップについて

時計以外の設定値は、電源をOFFしても消えません。

本機には内部時計バックアップ用にリチウムボタン電池を搭載しています。新品電池の場合、約2年で寿命になりますが、早めに交換してください。また電池を交換された場合は、再度時計を設定してください。

## Function H 知っておくと便利なこと

PC のエクスプローラーではファイルのプロパティで「読み取り専用」にチェックするとロックファイルに、チェックを外すと非ロックファイルに変更することができます。

SD カードの DCIM フォルダの下に動画用フォルダと写真用フォルダが生成されそれぞれのフォルダ名とファイル名は右図ようになります。

フォルダ名	ファイル名
動画	YYYYMMDD YYYY:西暦4桁, MM:月, D:日
写真	DCIM0001 PICTxxxx.JPG xxxx:0001からの連番

**Function I フォルダ名 / ファイル名について**

SD カードの DCIM フォルダの下に動画用フォルダと写真用フォルダが生成されそれぞれのフォルダ名とファイル名は右図ようになります。

フォルダ名	ファイル名
動画	YYYYMMDD YYYY:西暦4桁, MM:月, D:日
写真	DCIM0001 PICTxxxx.JPG xxxx:0001からの連番

**Function II SD カードに保存できる録画時間について**

本機の SD カード録画エリアは右図をご参照ください。ロックファイルエリア(上書き禁止)と非ロックファイルエリア(上書き可能)の最大30%を確保してください。

32GB SDカード	① 全体	② ロックファイル
Full HD 動画(1920×1080)	約 273 分	約 82 分
HD 動画(1280×720)	約 407 分	約 122 分
2M 写真	2M 写真の場合 5000 枚程度	

## Function III 本機の初期化 (工場出荷状態へ戻す) 方法について

本機の「設定初期化」機能で初期化する

本機の RESET スイッチを押す

**禁止**  
本機の RESET スイッチを押す場合は、金庫物が入り込まないよう十分に注意してください。

## Function IV 録画動作の仕組み

動画は録画単位 (t) ごとに SD カードに繰返し保存されます (ループ)。

非ロックファイルで SD カードが満杯になると、最も古い古い非ロックファイルを上書きしながらループします。

トリガー入力を受け付けるとトリガータイミングの動画とその前後の合計 3 動画を 3 ファイル分ロック (上書き禁止)して保存します (トリガータイム)

録画単位 (t) は [1分] [3分] [5分] から選べます。

SD カードにロック保存

SD カードにロック保存

トリガータイミング

トリガータイミング

## Function V トリガー保存中のファイルに、新たなトリガーが入った場合

トリガーとトリガーが近接した場合の動作は下図をご参照ください。なおトリガータイミングのロックファイルの保存中に新たなトリガーが入っても無視されます。

トリガータイミング

無効トリガー

トリガータイミング

トリガータイミング

## Function VI お手入れ方法

カメラレンズについたゴミや汚れは、動画が不鮮明となる場合があります。汚れはこまめに確認し、汚れがある場合は柔らかい布などを用いて拭き取るようにしてください。

**注意**  
お手入れの際はベンジン・シンナーなどを使用しないでください。変質・変形などの原因となります。

## トラブルやエラーの対処について

## Q&A

Question	Answer
1 電源が入らない	電源ランプが光っていない場合、配線が合っているか、電圧が DC5V ~ 48V の範囲かを確認してください。
2 設定画面で、勝手にカーソルが移動する	トリガーが入った状態になっている可能性があります。
3 トリガーポイントはどこにありますか?	動画の再生時に画面の右下に赤ドットが表示されたときが、トリガーポイントです。
4 トリガーが入らない	リレー提供から本機まで距離があると、うまく接続が入らない場合があります。5m 以内で接続してください。
5 ADRVIEW 起動時にファイルを見失う	管理者権限のある PC で使用してください。それ以外で使用する、ソフトが正しく動作しない場合があります。
6 SD カードを正しく認識しない	SDXC には対応しておりません。必ず SD, SDHC の規格製品をご使用ください。
7 空き容量があるのに容量一杯のエラーが表示される	必要なファイルを別に保存した上で、本体にてフォーマットしてください。不要なデータがあると、正常に動作しない恐れがあります。
8 USB ポートはどのような使い方ができますか?	動作中の PC に接続すると、SD 内にアクセスし、ファイル操作ができます。本機に給電が可能です。記録動作の保証はありません。
9 設定中の録画はどうなりますか?	各種設定中は、録画は止まります。

## 知っておくと便利なこと

PC のエクスプローラーではファイルのプロパティで「読み取り専用」にチェックするとロックファイルに、チェックを外すと非ロックファイルに変更することができます。

SD カードの DCIM フォルダの下に動画用フォルダと写真用フォルダが生成されそれぞれのフォルダ名とファイル名は右図ようになります。

フォルダ名	ファイル名
動画	YYYYMMDD YYYY:西暦4桁, MM:月, D:日
写真	DCIM0001 PICTxxxx.JPG xxxx:0001からの連番

**Function I フォルダ名 / ファイル名について**

SD カードの DCIM フォルダの下に動画用フォルダと写真用フォルダが生成されそれぞれのフォルダ名とファイル名は右図ようになります。

フォルダ名	ファイル名
動画	YYYYMMDD YYYY:西暦4桁, MM:月, D:日
写真	DCIM0001 PICTxxxx.JPG xxxx:0001からの連番

**Function II SD カードに保存できる録画時間について**

本機の SD カード録画エリアは右図をご参照ください。ロックファイルエリア(上書き禁止)と非ロックファイルエリア(上書き可能)の最大30%を確保してください。

32GB SDカード	① 全体	② ロックファイル
Full HD 動画(1920×1080)	約 273 分	約 82 分
HD 動画(1280×720)	約 407 分	約 122 分
2M 写真	2M 写真の場合 5000 枚程度	

## Function III 本機の初期化 (工場出荷状態へ戻す) 方法について

本機の「設定初期化」機能で初期化する

本機の RESET スイッチを押す

**禁止**  
本機の RESET スイッチを押す場合は、金庫物が入り込まないよう十分に注意してください。

## Function IV 録画動作の仕組み

動画は録画単位 (t) ごとに SD カードに繰返し保存されます (ループ)。

非ロックファイルで SD カードが満杯になると、最も古い古い非ロックファイルを上書きしながらループします。

トリガー入力を受け付けるとトリガータイミングの動画とその前後の合計 3 動画を 3 ファイル分ロック (上書き禁止)して保存します (トリガータイム)

録画単位 (t) は [1分] [3分] [5分] から選べます。

SD カードにロック保存

SD カードにロック保存

トリガータイミング

トリガータイミング

## Function V トリガー保存中のファイルに、新たなトリガーが入った場合

トリガーとトリガーが近接した場合の動作は下図をご参照ください。なおトリガータイミングのロックファイルの保存中に新たなトリガーが入っても無視されます。

トリガータイミング

無効トリガー

トリガータイミング

トリガータイミング

## Function VI お手入れ方法

カメラレンズについたゴミや汚れは、動画が不鮮明となる場合があります。汚れはこまめに確認し、汚れがある場合は柔らかい布などを用いて拭き取るようにしてください。

**注意**  
お手入れの際はベンジン・シンナーなどを使用しないでください。変質・変形などの原因となります。

## トラブルやエラーの対処について

## Q&A

Question	Answer
1 電源が入らない	電源ランプが光っていない場合、配線が合っているか、電圧が DC5V ~ 48V の範囲かを確認してください。
2 設定画面で、勝手にカーソルが移動する	トリガーが入った状態になっている可能性があります。
3 トリガーポイントはどこにありますか?	動画の再生時に画面の右下に赤ドットが表示されたときが、トリガーポイントです。
4 トリガーが入らない	リレー提供から本機まで距離があると、うまく接続が入らない場合があります。5m 以内で接続してください。
5 ADRVIEW 起動時にファイルを見失う	管理者権限のある PC で使用してください。それ以外で使用する、ソフトが正しく動作しない場合があります。
6 SD カードを正しく認識しない	SDXC には対応しておりません。必ず SD, SDHC の規格製品をご使用ください。
7 空き容量があるのに容量一杯のエラーが表示される	必要なファイルを別に保存した上で、本体にてフォーマットしてください。不要なデータがあると、正常に動作しない恐れがあります。
8 USB ポートはどのような使い方ができますか?	動作中の PC に接続すると、SD 内にアクセスし、ファイル操作ができます。本機に給電が可能です。記録動作の保証はありません。
9 設定中の録画はどうなりますか?	各種設定中は、録画は止まります。

Question	Answer
10 ナイトビジョンとはどのような機能ですか?	暗所である一定の明るさになると、撮影画像がモノクロに切り替わり暗所でも撮影が可能になります。
11 オートフォーカス機能はありますか?	オートフォーカス機能はありません。
12 画面が揺れる動画が保存される	CMOS カメラのローリングシャッター特性により、撮影画像が歪曲する場合があります。本機の周波数設定を切り替えてみてください。また振動の影響で揺れて撮影されることがあるので、振動に対する対策をしてください。
13 汎用プレーヤーで動画を再生できない	MOV 形式に対応したプレーヤーを使用していますか?
14 本機を廃棄したい	各自治体のゴミ分別ルールに従って廃棄してください。

## エラー表示一覧

エラー表示	エラー内容	対応
	SD カードが挿入されていません	SD カードを挿入してください
	SD カードが書き込み禁止になっています	書き込み禁止を解除し挿入し直してください
	SD カードがフォーマットされていません	SD カードをフォーマットしてください
	SD カードが読み込みできません	別の SD カードを使用してください
	SD カードの容量がいっぱいです	ファイルを消すか上書き禁止を解除し、空きを確保してください
	ビデオファイルがありません	録画を行ってから確認してください
	写真ファイルがありません	撮影を行ってから確認してください
	信号入力に異常があります	販売店またはメーカーへご連絡下さい
	ファイルがプロテクトされています	ファイルのプロテクト解除後、削除して下さい
	プロテクトされたスロットがいっぱいです	プロテクトファイルの解除を行ってください

## 本体仕様

本機は国内仕様となっております。日本国外でご使用された場合、当社はいかなる責任も負いかねます。

## ■ 本体仕様

部品名 / 型名	仕様	備考
液晶モニター	2.3インチ TFT LCD カラーディスプレイ	
LCD 表示言語	日本語 / 英語 / 中国語 (簡体・繁体) *1	
イメージセンサー	約 237 万画素 1/4.4inch CMOS センサー	
レンズ	F2.0	
撮影距離	約 15.5cm ~ ∞	
録画フォーマット	MOV 形式	
AV 記録フォーマット	MPEG-4 AVC/H.264	
動画画質	1080p (1920×1080 30fps) 720p (1280×720 30fps)	
写真画質	2M, 3M, 2M	
記録メディア	SD カード / 記憶カード	
マイク / スピーカー	無指向性モノラルマイク / モノラル	
リアルタイムクロック	リアルタイムクロック内蔵 (日付、時刻) 月差 ±90 秒	
保証/サポート	リチウムイオン電池 (CR2032) 電池寿命約 2 年 *2	

## ■ ビューア仕様

アプリ名	OS	推奨 PC スペック	動作環境
ADRVIEW (Windows アプリ)	Windows7 以上	推奨 PC スペック	Windows7 以上が動作する PC
機能	写真の再生、ロックファイル動画/非ロックファイル動画の選択実行、動画の再生とスロー再生		

## 製品保証書

製品名・型名	保証期間	ご購入日より 1 年間
お客様 フリガガ お名前	製造番号	年 月 日
ご住所 〒		
販売店・工務店 電話番号		

この保証規定は、お客様がご購入頂いた製品に関して、因幡電機産業株式会社 (以下、「弊社」といいます) が保証する内容について明記しています。

**第1条 (目的)**  
1. 本保証は、弊社の製品 (以下、「本製品」といいます) に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。  
2. お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意し、本規定を承諾し、本規定に従って本製品の取り扱いを行います。お客様は本規定に同意し、本規定に従って本製品の取り扱いを行います。

**第2条 (保証対象および保証範囲)**  
1. 本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変更または変形がなされた場合、本保証の対象外となります。  
2. 本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。お客様は本保証の対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
①本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変更または変形がなされた場合  
②本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
③本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
④本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
⑤本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
⑥本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
⑦本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
⑧本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
⑨本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。  
⑩本製品の保証対象外となる場合 (以下、「保証対象外」といいます) は、以下のいずれかに該当した場合 (以下、「不具合」といいます) となります。

**第3条 (保証内容)**  
1. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
2. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
3. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
4. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
5. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
6. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
7. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
8. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
9. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
10. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。

**第4条 (保証事項)**  
1. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
2. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
3. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
4. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
5. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
6. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
7. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
8. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
9. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
10. 弊社は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。

**第5条 (その他)**  
1. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
2. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
3. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
4. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
5. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
6. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
7. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
8. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
9. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。  
10. 本保証は、本保証に不良が発生した場合 (以下、「不具合」といいます) 自らの装置によって発生した不具合の原因を調査し、原因を特定し、修理を行います。修理には、本製品の修理費用がかかります。修理には、本製品の修理費用がかかります。

## 製品保証書でお買い上げ日が確認できない場合、お買い上げ日が確認できる納品書のご提示をお願いすることがあります。

◆ お客様の個人情報は、本製品に関するご相談及び修理等に関する対応に利用いたします。

**因幡電機産業株式会社**  
〒550-0012 大阪市西区立売堀4丁目11番14号  
TEL 06-4391-1852 FAX 06-4391-1768

産業システム事業部</